2026（令和８）年９月19日（土）
９：30～17：00
場所：特別養護老人ホーム　ハレサク
参加者：21名
「ファーストステップ研修　６日目　ケア場面での気づきと助言②」
野崎　利信　先生




午前の講義は、「人間の尊厳と具体的なケア」「介護における気づき」について、資料を使用し職員・利用者それぞれの目線で尊厳が守られているか個人・グループで考えました。グループでの意見の共有により、介護のプロとしてサービス提供をするということが大切で、気づき力を上げるためには「観察力」「洞察力」「客観的視点」「推理力」が必要だと学びました。

午後の初めはコミュニケーション技法についての講義が行われました。１人ひとり違う思いや性格、身体・精神状態も違うため、先入観・固定概念を持つのではなく、個々を尊重し、介護のプロとしての「相手を理解するアプローチ」について学びを深めました。





その後は、各々の事前課題の内容についてのグループワークが行われました。
他者の意見を批判せず聞き、どのような気づきがあったか自由に記入し、全体での意見共有をしました。

続いて、危険予知訓練を事例の絵を見て実践しました。危険な点・リーダーとしてアプローチする点をグループワークにて話し合い→発表し、会場全体で活発な意見が飛び交っていました。



最後にはマンダラートを使い、自職場の改善点・職場の仕組み等の意見を出し合い、どんなアクションを起こすかをグループで考えました。